

# 山行報告書

令和 6年 6月 8日  
リーダー：豊岡一夫

行き先	飯縄山(1,917m)、黒姫山(2,053m)					所在地：長野県	
期 日	令和 6年6月6日(木)～ 7日(金)						
参加者	杉山修二、安間香録、豊岡一夫					合計 3名	
歩行時間 歩行距離(km) 累積標高(m)	一 日 目	4:45 9.9 855/781	二 日 目	8:00 17.2 1,058/1,530		合 計	12:45 27.1 1,913/2,311
程 度	体力度	3 (2日目の歩行が7時間以上)			技術度	1 (危険な個所はなし)	
コース タイム	1日目 (6/6)	(あさま603) (バス) 東京駅 ===== 長野駅 ===== 飯綱山登山口 ----- 一ノ鳥居登山口 ----- 駒つなぎの場 ---- 7:24 9:13/9:40 10:31/10:41 10:55 (6) 11:59 飯縄山 西登山道分岐---- 飯縄山 ----西登山道分岐---- 萱ノ宮---- 西登山口 ---- 旅館横倉(泊) 12:55/昼/13:10 13:34/13:47 14:11 15:14 15:39/15:42 16:03					
	2日目 (6/7)	(宿の車) 旅館横倉===== 大橋登山口 ---- 古池 ---- 新道分岐 ---- しなの木---- 黒姫山 ---- 5:50 6:04/6:07 6:28/6:30 (10) 7:47/7:50 8:21/8:28 10:13/昼/10:47 (5) 黒暇山 日ノ出石 ---- シナノ木 ---- 表登山口 ---- 黒姫駅 ===== 長野駅 ===== 東京駅(解散) 12:52/13:00 13:45/13:50 14:40/14:42 15:11/16:03 16:38/17:05 18:28 (かがやき510)					
宿泊場所	旅館横倉 : ☎ 026-254-2030 長野市戸隠中社3347						
費用	【交通費】(東京起点) 電車：往路 東京駅～長野駅(特急あさま603) 5,680円(大人の休日) 復路 黒姫駅～長野駅～東京駅(かがやき510) 6,470円( " ) バス：長野駅 → 飯綱登山口(戸隠高原行) 950円 送迎車：旅館～登山口 1,000円/人 【宿泊費】 横倉旅館(1泊2食) 10,250円 合計 24,350円						
山行状況 所 感	天候不順で雨と曇りを何度も繰り返す予報に一喜一憂しながらも、少々の雨を覚悟して実施した。結果、快晴とはいかないまでも、雨に降られることもなく、薄曇りの穏やかな陽射しのもと、新緑や多くの花々を楽しむことができ幸運であった。眺望も、薄雲が掛かっていたものの、白馬連峰や火打山・妙高山、高妻山、眼下の戸隠高原が一望でき、想定以上に満足のゆく山行であった。 【飯縄山】 ・バスを降りて歩き始めると春ゼミやホトトギス、カッコウの声が樹間に木魂し合って、いきなり別世界に足を踏み入れたような長閑な雰囲気、気分も足取りも快調にスタートできた。 ・一ノ鳥居から登り始めると六合目過ぎまで十三の仏像が安置されていて、信仰の山であることを感じながらの登りであった。最初は物足りなさを感じる勾配であったが、4合目辺りから山頂に近づくにつれ勾配が急になり、岩も大きくなって、両手を使っての登り応えのある山となった。 ・平日にもかかわらず、50人近い下山者とすれ違い、人気の高い山であることを知った。 ・花は、ミツバオーレンやイワカガミ、チゴユリが多く、その他、名も知らぬ白や黄色の花々が至るところに見られた。そんな中、ヤマツツジやミツバツツジが色濃く咲いて存在感を示していた。 ・下山は、西登山道分岐から戸隠中社への緩い勾配のダラダラ道を歩き、宿泊する旅館横倉に予定を10分ちよっとの遅れで到着した。宿は6年前の高妻山の際にも利用したが、その後、息子さんへと世代交代し、築150年の建物も改装されていた。しかし、料理は変わらぬ美味しさと、地酒で味わいながらゆっくりと疲れを癒すことができた。						

<p>山行状況 所 感</p>	<p><b>【黒姫山】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4時半に起床し、弁当にしてもらっていた朝食をとった。お天気ナビが前夜の雨マークから曇りに変わり、気持ちも一段とテンションが上がった。</li> <li>・下山の行程が長く天候にも不安があったので、少しでも余裕を持とうと宿の方に相談して、5:50の出発に変更し、大橋登山口まで送ってもらった。(謝礼は、一人1000円/人とした)</li> <li>・早朝の清々しいカラマツ林の中、背丈ほどの青く瑞々しい笹の道を軽快に進んだ。20分ほどで古池に着くと、黒姫山が静かな佇まいの水面に姿を映して印象に残る光景であった。</li> <li>・この辺り一帯は、戸隠竹細工用の竹を保護するエリアに指定してされているようで、タケノコ採取禁止の幕が至る所に掲示されていた。多すぎて少々興覚めではあった。</li> <li>・登山道は泥濘んだ箇所が多かったが、スパッツを着ける程ではなかった。</li> <li>・前日の飯縄山とは対照的に、登山者の姿は少なく、山頂まで2人しか出会わなかった。</li> <li>・しらたま平まで登ると展望が開け、正面に高妻山と戸隠連峰が、その左に前日登った飯縄山、さらに左には斑尾山と野尻湖を一望できた。山頂からは反対側の残雪の白馬連峰、その右に火打山、妙高山なども眺められ、上信越の山々のパノラマを楽しむことができた。</li> <li>・昼食後、下山は表登山道コースで黒姫駅までの長い道のりを歩いた。山頂直下の日ノ出石までが急降で段差が大きく、しかも利用者が少ないのか荒れ放題の悪路であった。このため慎重に時間をかけて降りたが、脚への負荷も大きく、次の七曲りを終えるまでが辛かった。また、その先も町民の森登山口までの林道と交わる地図上の十字路がズレていて、次への入り口が分かり難かった。この道は登りには良いが下山にはお薦めできないと思った。ただ、花に多く出会えたことは幸いであった。</li> <li>・花は飯縄山より多くの種類の花が見られた。名前の分かるものだけでも、ミツバオーレン、イワカガミ、ユキザサ、ツバメオモト、オサバグサ、ショウジョウバカマ、サンカヨウ、イワナシ、テガタチドリ、アカモノ、コミヤマカタバミ、チゴユリ等々が目を楽しませてくれた。マイヅルソウやゴゼンタチバナはまだ蕾の状態が多かった。</li> </ul> <p>以上、今回の山行は天候にも恵まれ、厳しい下山があったものの、楽しい山行であった。この山域は思い立たないとなかなか足を向けにくいエリアではあるが、次回は戸隠神社周辺の戸隠古道歩きと戸隠山を目指して、もう一度訪れたいと思う。</p>
<p>一口 アドバイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登山口へのアクセスはタクシーが利用しにくい(時間外と運転手不足を理由に予約の段階で断られた。)ので、送迎をしてもらえる宿を選ぶ必要がある。</li> <li>・所感で記したように、黒姫山の下山に表登山道はあまりお薦めできない。同じ道の往復を避けるなら、山頂から峰ノ大池分岐～西登山道～新道分岐～大橋で下り、戸隠キャンプ場のバス停まで(徒歩20分)歩いて戻った方が無難だと思う。</li> <li>・連続して2座を登ったが、黒姫山の下りが予想以上にハードで年齢相応の行程ではなかったかもしれない。事前のルートチェックが甘かったと反省する。それだけに、達成感・満足感は大きかった。</li> </ul>